

オーバーカウンターシンク【A1m/m】スーパージェードシリーズ

A1m/mシリーズ発売にあたり

国内シンクが世界水準に翔く日

A1m/mシリーズとは、日本国内市場に初めて紹介される1mm厚Stainlessプレスボウルと、それを用いた全1mm オーバーカウンターStainless Sinkシリーズの総称です。

パーティシンクを含む8種類のボウルバリエーションを背景に、本邦初のプレス製造による1mmシンク群を発表できますことは1000ton能力を有する高圧プレス機工場の協力もさることながら、日常業務のたずさわる環境が、その可能性を見出せるポジションにありえたからでしょうか。あるいは、商品がカオス的に満ちる建設市場の中で、単に商事に利潤を求めるのではなく、冷徹に〈物〉を見窮める眼を培うことを、一時的な心構えとして活動して来たことへの褒美であるのでしょうか。

見回してみますと、欧・米からの輸入品の1mmプレスSinkが、すでに10数年前よりS/K業界に紹介されていますが、シンク槽が一部をのぞき押しなべて150mm程と浅く、その上大型ゴミ収納器が取りつかない仕様であることから、日本人の生活にはなじみの薄いものでした。食器洗い機の普及等により洗う機能の必要性が減少するという観点に立つにしても、本格的な洗いの作業が無くなる訳ではありません。小さいボウルサイズが重宝されるならいざ知らず、浅い寸法・形状がよいという理由にはならないのです。幸い、深しぼりのA1m/mシリーズは、試作段階より、設計事務所やS/K業界の方々から、曲線の優美な在来プレスシンクのコスト性と、手板金シンクの厚さからくる質感を同時に重ねもつ究極のステンレスシンクであるとの評価を頂いております。

とはいえ、1mmプレスボウルの企画を完遂するなど、向後、全く予測しえない未開・未踏の市場に、単独で挑戦することになる訳で、弊社の引きしぼる矢が極星の煌きをみごと射落せるという保証はないのです。また、従前唯れも為さざる領域事項を行ないきることには、財政上の危険と期待感の重圧というある種の強迫観念が伴ない、平生他の製品の業績にさえ悪影響を及ぼすことも考えられます。だからこそ弊社は、1mmプレスボウルの先駆者として拍手でむかえられる喜びと、市場での基本的な先行権に安住することなく、S/K業界に独自の金字塔をうちたてるべく邁進しなければならないと考えております。

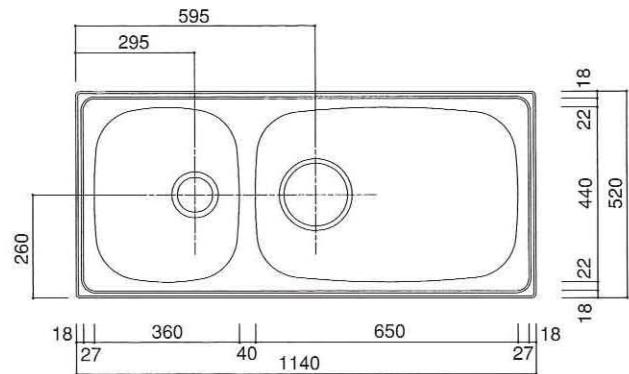
ことここに至りましては、システムキッチンと日々触れ合うユーザーの夢を、徹底的に追求した機能的デザインと重厚なグレード感を理解していただき、御利用下さる皆様方にいつまでも大切にさせていただけることを、心より願っております。

昭和63年12月吉日

A1m/m1140-520W

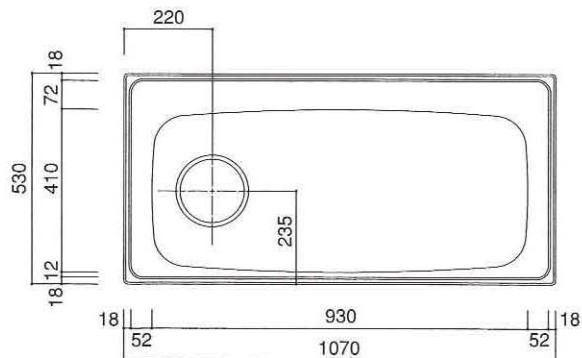
(180°反転可能タイプ)

W1140×D520×H194



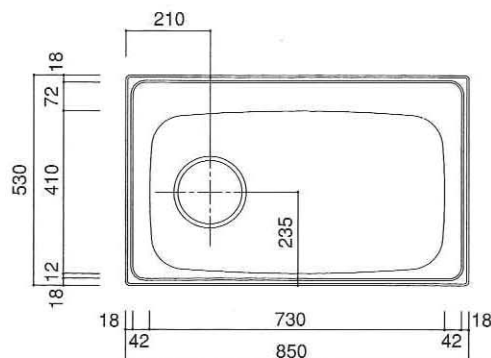
A1m/m1070-530S

W1070×D530×H204



A1m/m850-530S

W850×D530×H194



パーティーシンク【A1m/m】スーパーグレードシリーズ

ニューデザインが華やかさを添えて

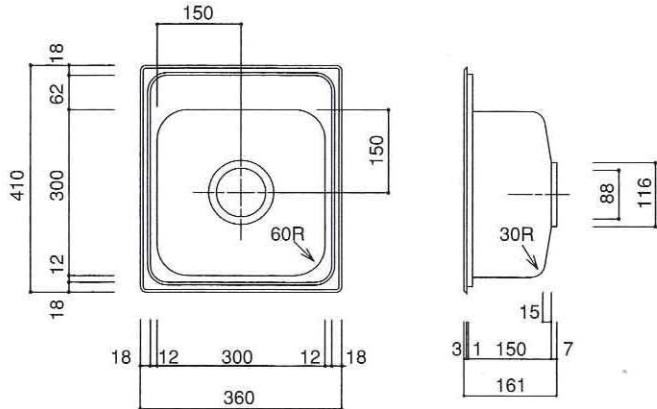
本邦初パーティーシンク専用1mmStainlessボウル、しかも1mm厚で!

パーティーシンクとは楽しい集いの席でとても重宝する小さな洒落たシンクです。ところで、このParty-Sinkに多様なレイアウトケースのあることを知っていますか?

- ハッチカウンター・アイランドカウンターにサブシンクとして。
- ホームバー・ご夫婦の寝室にミニ冷蔵庫と共に。
- 玄関ホールの隅に清潔な生活のシンボルとして。
- トイレの中の手洗いにアンダーカウンターの仕様で。
- 薬局・コンビニエンスストアに小さい便利なシンクとして。
- レストランのエントランスにアクセントを兼ねて実用的に。

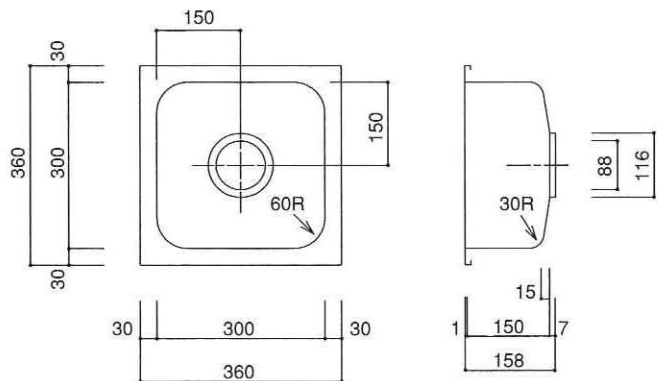
A1m/m360-410S

W360×D410×H154



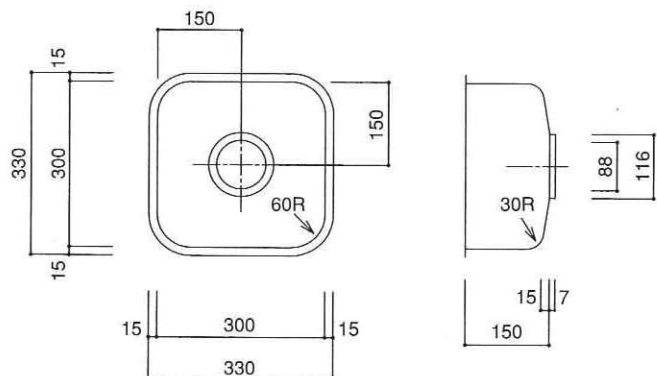
A1m/m360-360S

W360×D360×H151



A1m/m300-300

W300×D300×H150



- シンク本体及び排水部品の設計価格については、別紙「500tonプレスStainless Sink 価格表」にて御確認下さい。
- サイレントシートの設計価格については、別紙パンフレット「サイレントシート」にて御確認下さい。

H19年7月